

新冠にまつわるお話しを集めた 新冠百話

第六十八話

「酪農のあゆみ（語り）」（要約文）

大正時代の終わり頃、農村地域の生活はとて厳しく、その疲弊ぶりは目に余るものがありました。そのような中、道内の酪農家を視察した際、とても良い生活をしていることを知りました。それで酪農について真剣に研究することにしたのです。

私たちの東泊津方面は、日高管内の中でも多くの土地配当を受けましたので、これを基準にして牛飼いの経営計画を立てました。まず、酪農をするための資金融資について準備しました。その後、千歳から幼年牛二十頭を買い付け、その牛を十戸の農家に分配しました。年は、昭和十二年頃のことですが、これが図らずも新冠における酪農の発端になるうとは、当時は考えていませんでした。農家経済の確立を念頭に、人知れず苦労や心配もしましたが、ついには牛に子が産まれ、そして乳を搾り、集乳所経営の真似をしながら終戦を迎えました。当時、日高管内で牛を扱っていたのは浦河や静内のごく一部でしたが、終戦を境に、新冠の酪農事業は大きく発展することとなります。その理由は、御料牧場の解放です。各地からたくさんの方々が新冠にやって

来て、酪農に対しての共鳴が広がり、盛んになっていきました。やがて、雪印乳業が発足したことも相まってさらに発展し、日高有数の酪農町村となったわけです。

でも、経営を軌道に乗せるのは大変でした。種付け時期には、専用の部屋を確保しなくてはなりません。また、種牛は自ら用意するので、その資金繰りも考慮にいれながら、空知の北村まで牛を買い付けに行く。輸送の手配から飼養管理まで、自らが責任をもって続けなければならないという状態でした。

当時、搾った乳は湧き水で冷やしておきます。湧き水が近くにある人は苦労がないけど、そうでない人は大変です。早く冷やすことが細菌の増殖を防ぐ絶対条件だからです。このようなことが、後の本格的な集乳所設置へとつながっていったのです。



頌徳碑
東泊津の開拓のはじまりを刻む石碑

戸籍の窓

4月21日～5月20日までの届出分（敬称略）

●いつまでもお幸せに

山田 拓未 ♡ 鎌倉 美優 明 和

●お誕生おめでとうございます

栗林 ^{まれは} 希羽（^{パパ}雅論 ^{ママ}仁珠）明 和
金平 ^{いお} 唯央（^{健吾} 円佳）節婦町

●おくやみ申し上げます

佐々木紀久夫 83歳 節婦町

●お問い合わせ先

町民生活課町民生活グループ住民係
☎ 0146・47・2112

～救うのは 一番近くの あなたの手～

- 呼吸や心臓が止まったら …心肺蘇生・AED（自動体外式除細動器）
 - のどにものが詰まったら …気道異物の除去
 - ケガや病気におそわれたら…応急手当
- 気軽に講習会を受講しましょう！まずは消防へ連絡→☎ 47-2666

火災・救急出動状況（ ）かっこ内は前年同期

区分	火災件数	救急件数	災害出動件数
5月	0件（1件）	17件（32件）	0件（4件）
6年1～5月	2件（3件）	111件（139件）	8件（9件）

区分	発生件数	死者	傷者
5月	0件（0件）	0人（0人）	0人（0人）
6年1～5月	1件（1件）	0人（0人）	4人（1人）

交通事故発生状況（ ）かっこ内は前年同期

人のうごき

（令和6年5月末現在）

人口 5,094人（前月比 + 12人）
男 2,553人（前月比 + 5人）
女 2,541人（前月比 + 7人）
世帯 2,834世帯（前月比 ± 0世帯）

町公式ホームページ



町公式フェイスブック

